

村長行政報告要旨



財政状況関係

平成29年度の決算状況は形式収支、実質収支ともに黒字となったが、単年度収支は7,723万円、基金収支を含めた実質単年度収支は、2億7,123万円のいずれも赤字となり、厳しい決算となった。

主因は、普通交付税の減額にあり、削減幅と同額の一般財源を削減するには、相当な努力が必要となる。次年度予算編成に向けて村単独事業を中心に検討を加える必要があると感じている。

イベント関係

8月3日から3日間開催された仙人修行には、台湾からの申込者6名を含め25名が参加し、無事終了した。

また、8月11日に開催した恒例の「トマト祭り」では、夏野菜の詰め放題などを行い、地元食材のPRに努めている。

更に、9月8日にはダイハツ工業株式会社が主催する「星空鑑賞イベント」が、ジュネス栗駒スキー場で開催されることとなっている。

全国から約400人が参加するイベントであり、大いに東成瀬村をPRしたいと思っている。

今後とも、様々なイベントを通じて交流人口の拡大や村のPR等、情報発信をしていきたいと考えている。

なお、これらイベントについては、村観光物産協会が中心となって開催しているが、来月上旬には、法人に移行する予定となっている。

移住定住対策関係

若者定住促進住宅については、滝ノ沢地区へ新たに4棟を建設することとしており、今月工事着手し、11月中の完成を予定している。

また、地域おこし協力隊に1名の申込みがあり、12月から村内で活動を始める予定となっている。

第三セクター関係

秋田栗駒リゾートについては、慢性的な人手不足となっており、人材派遣の利用など様々な対策を採りながら何とか運営している状況である。

これから、紅葉シーズンを迎えるため、社員一丸となって、この難局を乗り切らなければならないと考えている。

消防訓練大会関係

7月15日、村消防訓練大会を開催し、規律訓練礼式の部では、第1分団が、小型ポンプ操法の部では、第3分団第3部がそれぞれ優勝した。

また、7月29日に湯沢市で行われた湯沢雄勝消防訓練大会においては、規律訓練礼式の部では第3分団が第3位、小型ポンプ操法の部では第3分団第3部が優勝し、本村消防団は総合成績で第2位となった。

第3分団第3部は、9月1日に開催される秋田県消防訓練大会に湯沢市雄勝郡支部代表として出場する。

火災発生関係

7月22日に椿川の循環拠点施設において、翌23日に田子内字上野地内のビニールハウスにおいて火災が発生した。いずれの火災においても幸い大事に至らず、人的な被害もなかった。

今後も、消防団と安全を守る女性の会の協力を得ながら火災予防を呼びかけていきたい。

簡易水道事業関係

今年度予定した工事は全て発注済みとなっており、国道改良に伴う川通地区の配水管布設工事及び手倉地区の国道舗装復旧工事は、既に現場作業を終了している。

「生産の目安」移行後の状況

8月上旬の県主催の会議では、平成30年産の全国的な米の作付け動向が示された。それによると、ここ数年の米価の高止まりが影響し、コンビニ等の「中食（なかしょく）」の取扱量が減退し、消費量が減少傾向に入っているとの報告があった。

飼料用米の生産が22県で減少している影響もあって、逆に秋田を含む6県で、主食用米が増産傾向にあり、県内25地域協議会の全てで増産に転じているようだ。

本村としては、「生産の目安」による民間ベースの需給調整が円滑に運営され、生産者の不安が払拭されるよう望んでいる。